

財産目録概要

(2018年3月31日現在)

[1] 資産

概要	金額
1. 基本財産	19,167,005,297 円
(1) 土地 112,957.04㎡	3,800,381,401 円
(2) 建物 72,834.59㎡	10,684,055,572 円
(3) 構築物	636,501,360 円
(4) 機器備品 29,967点	716,866,002 円
(5) 図書 594,159冊	3,328,182,593 円
(6) 車両 2台	1,018,369 円
2. 運用財産	25,572,550,298円
(1) 預金・現金	6,201,812,320 円
(2) 特定資産	19,137,131,996 円
(3) 有価証券	11,391,050 円
(4) 未収入金	86,831,807 円
(5) 電話加入権	3,653,376 円
(6) ソフトウェア	2,833,110 円
(7) 貸付金	89,369,379 円
(8) 敷金	39,521,880 円
(9) 預託金	5,380 円

[2] 負債

概要	金額
1. 固定負債	2,264,925,897円
(1) 退職給与引当金	2,264,925,897円
2. 流動負債	1,889,160,167円
(1) 未払金	238,376,699円
(2) 前受金	1,574,798,360円
(3) 預り金	75,985,108円

I. 資産総額 (基本財産+運用財産)	44,739,555,595 円
------------------------	------------------

II. 負債総額 (固定負債+流動負債)	4,154,086,064 円
-------------------------	-----------------

III. 正味財産 (I - II)	40,585,469,531 円
-----------------------	------------------

1. 重要な会計方針

- ・資産の評価は、取得価額による。

2. 引当金の計上基準

徴収不能引当金

- ・貸付金については、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

- ・退職給与引当金の計上方法は、期末要支給額の**100%**を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額を計上している。

3. その他の重要な会計方針

固定資産の減価償却方法

- ・定額法によることとし、残存価額を置かない備忘価額**1**円とする減価償却である。

有価証券の評価基準及び評価方法

- ・移動平均法に基づく原価法である。